



北陸管内の経済情報

(全国財務局長会議資料)

- I. 最近の北陸財務局管内の経済情勢
- II. 北陸財務局管内の経済構造等
- III. 令和6年能登半島地震の影響について
- IV. 北陸新幹線の敦賀延伸について

令和6年8月6日

北 陸 財 務 局

【お問合せ先】
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 最近の北陸財務局管内の経済情勢

	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、 <u>緩やかに持ち直しつつある</u>	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、 <u>持ち直しつつある</u>		個人消費は、地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。生産活動は、地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある。雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。

〔先行き〕復旧・復興の動きに加え、各種政策や北陸新幹線敦賀延伸の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、引き続き、地震の影響については十分注意する必要がある。

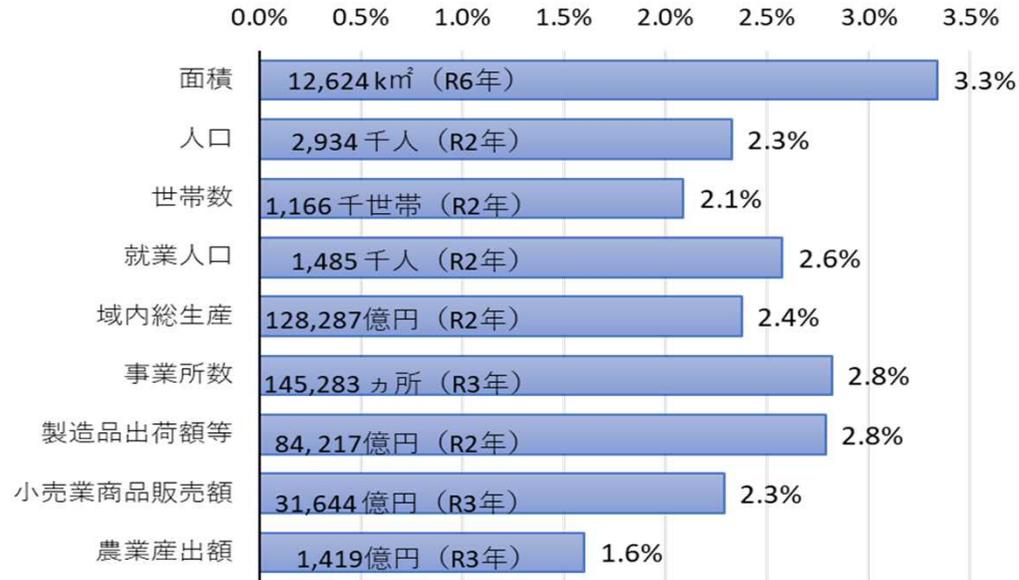
	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している	
生産活動	地震による生産設備の損壊等の影響から、全体では弱含んでいるものの、足下では正常化に向けた動きが広がっている	地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直しているものの、地震の影響を十分に注視する必要がある	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	

※6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

II. 北陸財務局管内の経済構造等 ～ものづくりの盛んな地域～

(1) 経済規模

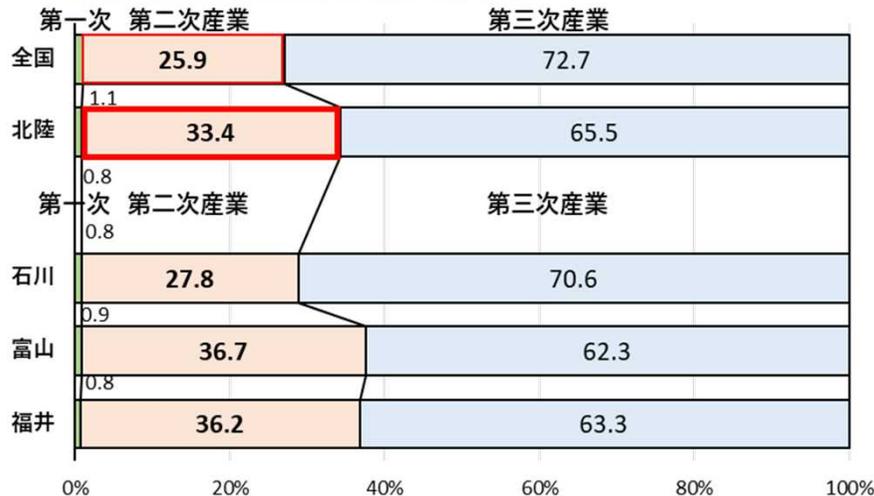
→ 北陸の経済規模は、全国比で3%程度



【出所】 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「国勢調査」、「経済センサス」内閣府「国民経済計算」、各県「県民経済計算」、農林水産省「農業産出額」より当局作成

(2) 産業構造

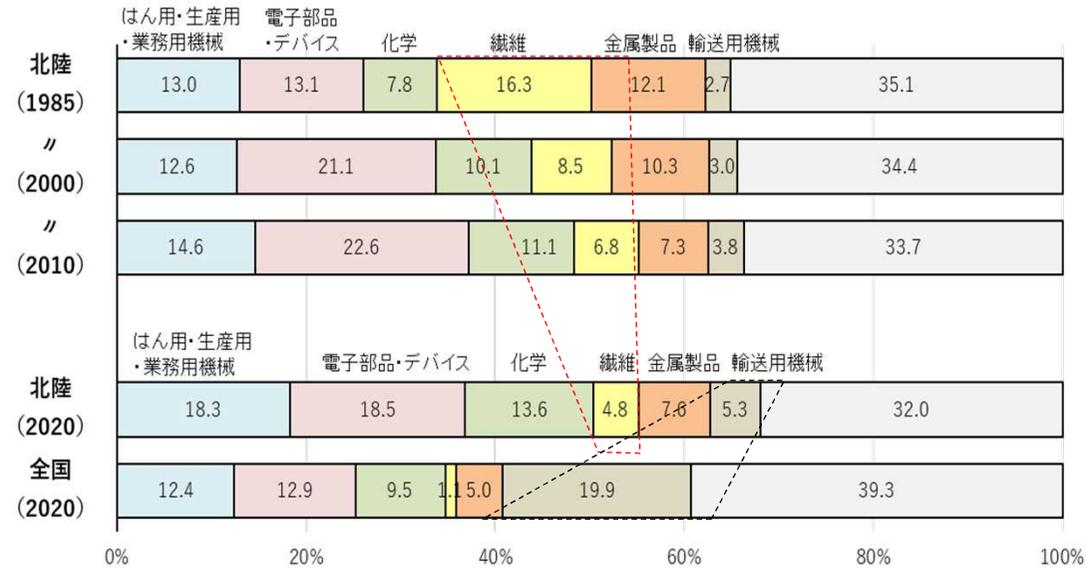
→ 第二次産業の割合が高い「ものづくりの地域」



【出所】 内閣府「国民経済計算（令和2年）」、各県「県民経済計算（令和2年度）」より当局作成
【備考】 国内、県内総生産額（名目）

(3) 製造品出荷額等

→ 基幹産業は、機械、電子部品・デバイス、化学

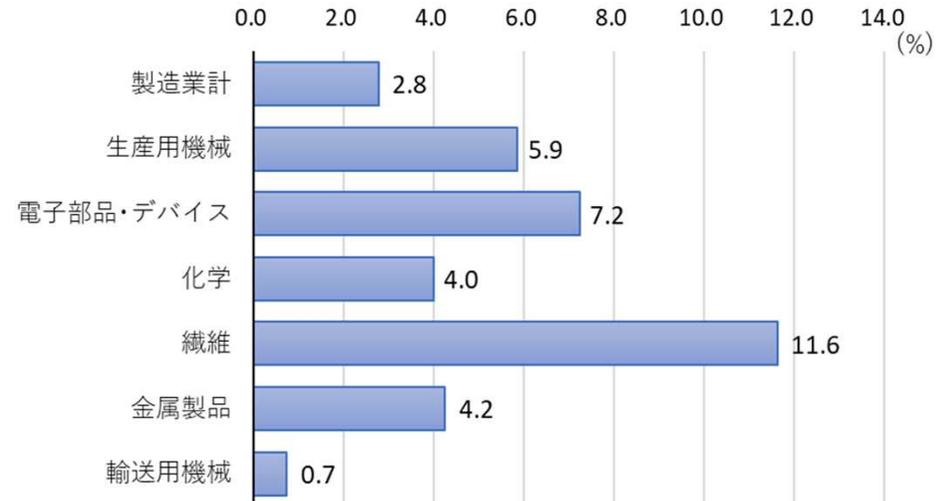


【出所】 総務省「経済センサス」より当局作成

【備考】 電子部品・デバイスは、1985年及び2000年は電気機械、2010年及び2020年は、電子部品・デバイス、電気機械、情報通信機械を合算

(4) 業種別の全国シェア（製造品出荷額等、2020年）

→ 全国で見ると、繊維工業に存在感

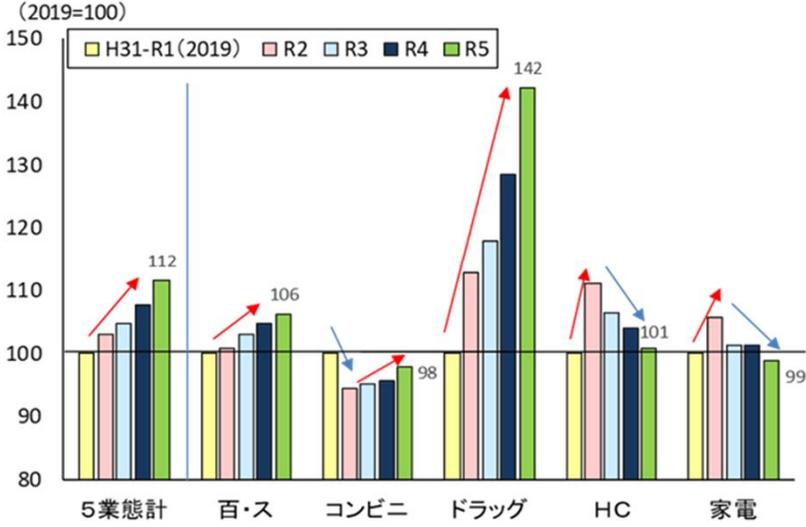


【出所】 総務省「経済センサス」より当局作成

II. 北陸財務局管内の経済構造等 ～ 個人消費 ～

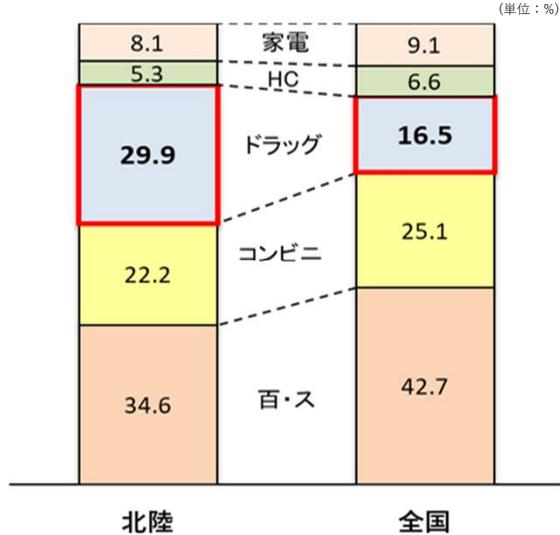
(1) 売上高の推移 (各年・業態別、H31・R1年～R5)

→ コロナ禍とその後も「百貨店・スーパー」は堅調、「ドラッグストア」は拡大



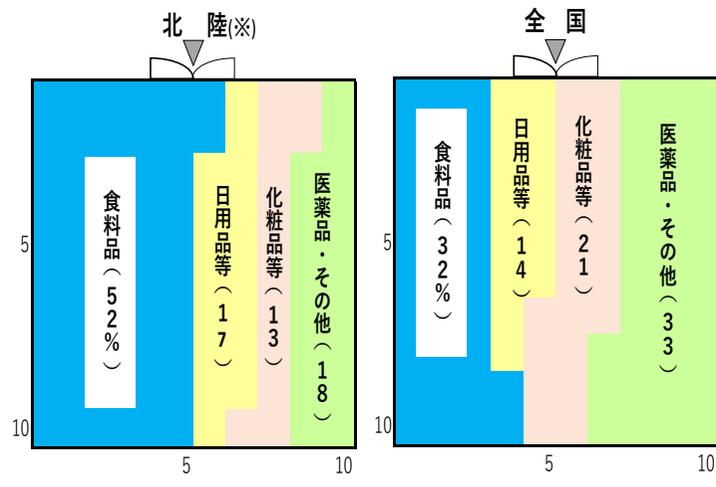
(2) 物販5業態の売上高構成比 (R5)

→ 北陸は、ドラッグストアの存在感が大きい



(3) ドラッグストア・売上高構成比 (※)

→ 北陸のドラッグストアは、食品品の比率が高い



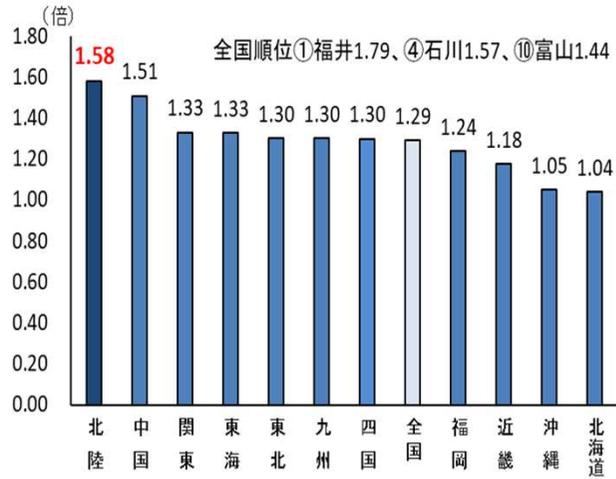
【備考】北陸(※)は地元上場企業2社の公表資料(商品部門別販売実績等・全国ベース)を基に当局で合算等したものであり、北陸管内の構成比を示すものではない。全国は「商業動態統計(R5)」からビューティーケア、トイレタリーを「化粧品等」として、当局で試算したもの。

II. 北陸財務局管内の経済構造等 ～ 雇用情勢 ～

(1) 有効求人倍率

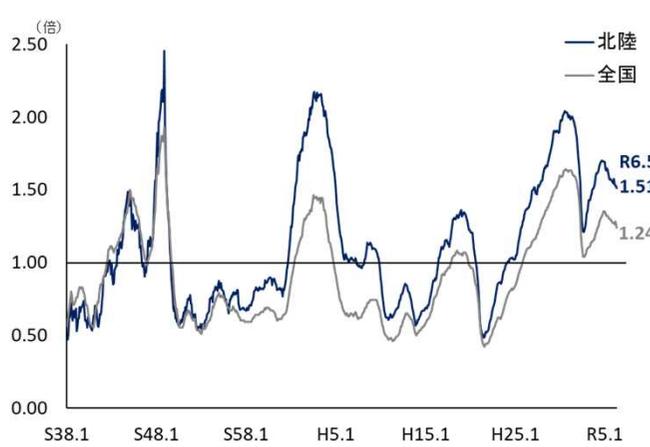
① 令和5年度(財務局別)

→ 全国で最も高位にあり、人手不足感が強い



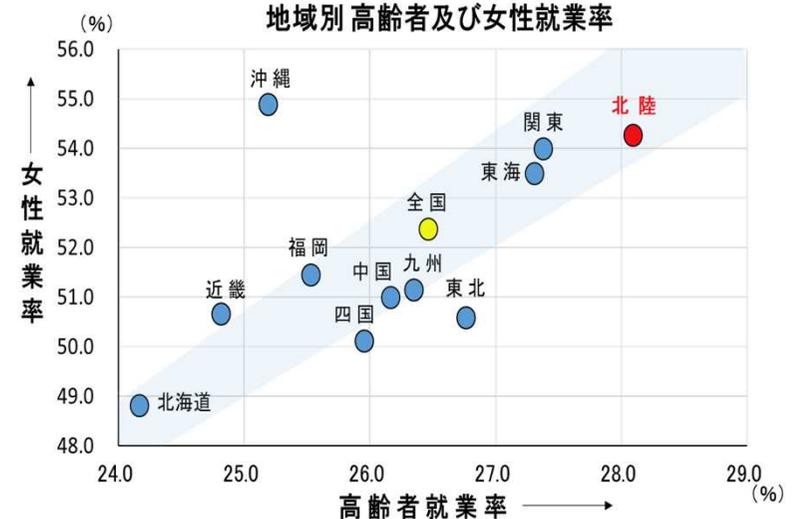
② 長期推移(季節調整値)

→ 全国を上回って推移し、足下でも1.5倍超



(2) 高齢者及び女性就業率 (R2)

→ 他地域と比べて高位にある(≒労働供給余力は低位)



【出所】厚生労働省「一般職業紹介状況」より当局作成

【備考】地域は各財務局別で当局試算。

【出所】総務省「国勢調査(R2、不詳補完値)」より当局作成

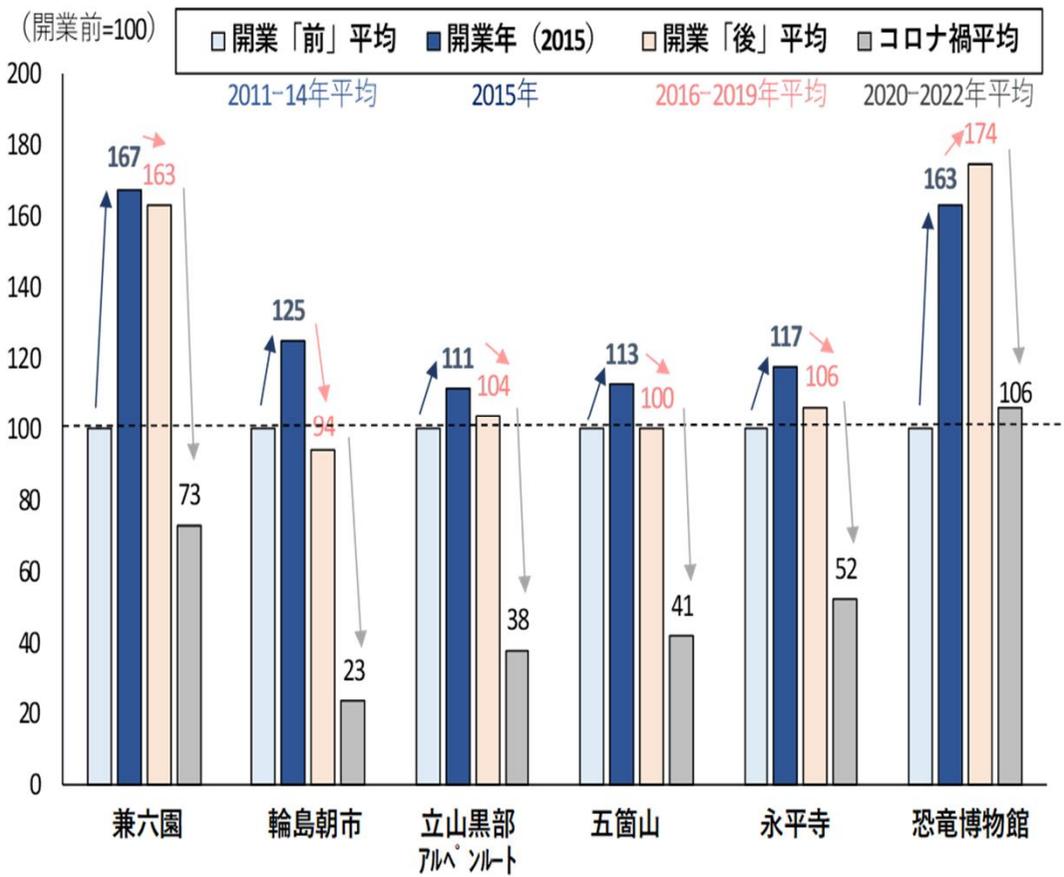
【備考】地域は各財務局別で当局試算。

II. 北陸財務局管内の経済構造等 ～ 観光 ～

1. 北陸新幹線の金沢開業 から コロナ禍まで(2015/3～2022)

■ 観光地の入込客数の推移

→ 新幹線の金沢開業効果は2年目以降も続いたが、コロナ禍で急減した

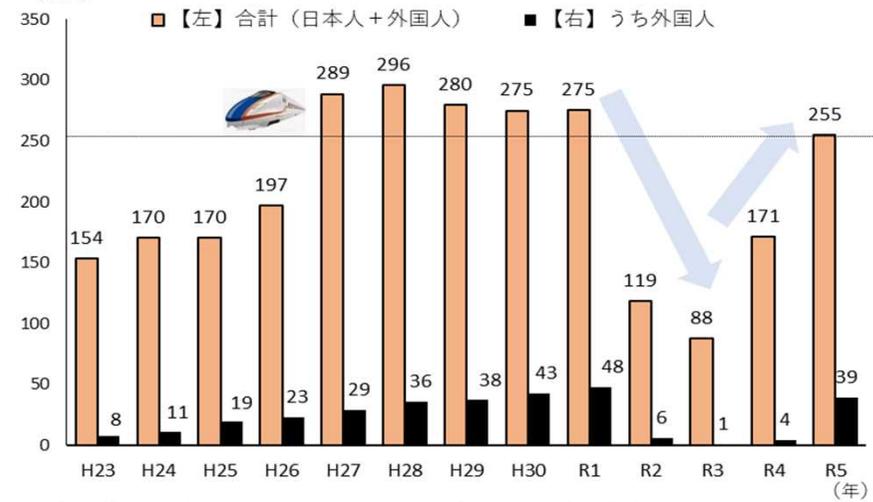


【出所】各県以下統計資料（各年）より当局作成
 石川県「統計からみた石川県の観光」
 富山県「富山県観光客入込客数等」
 福井県「福井県観光客入込数（推計）」
 【備考】開業「前」平均 = 2011年～2014年(H23～H26)
 開業年 = 2015年(H27)
 開業「後」平均 = 2016年～2019年(H28～H31/R1)
 コロナ禍平均 = 2020年～2022年(R2～R4)

2. 能登半島地震 前 まで(～2023/12)

(1) 兼六園の入園者数

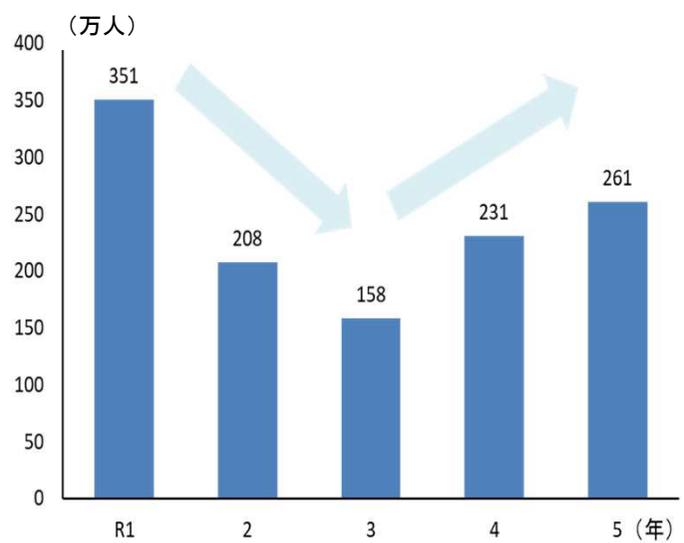
→ 令和5年5月のコロナ5類移行もあって、被災前は、コロナ禍前9割まで回復 (万人)



【出所】石川県観光オープンデータポータルサイト「Milli」より、当局作成

(2) 主要温泉地宿泊客数の推移

→ 能登半島地震前は、令和3年をボトムとして増加に転じていた



【出所】北陸観光協会資料より、当局作成
 【備考】和倉温泉、山代温泉、あわら温泉、宇奈月温泉ほか計9温泉地の合計

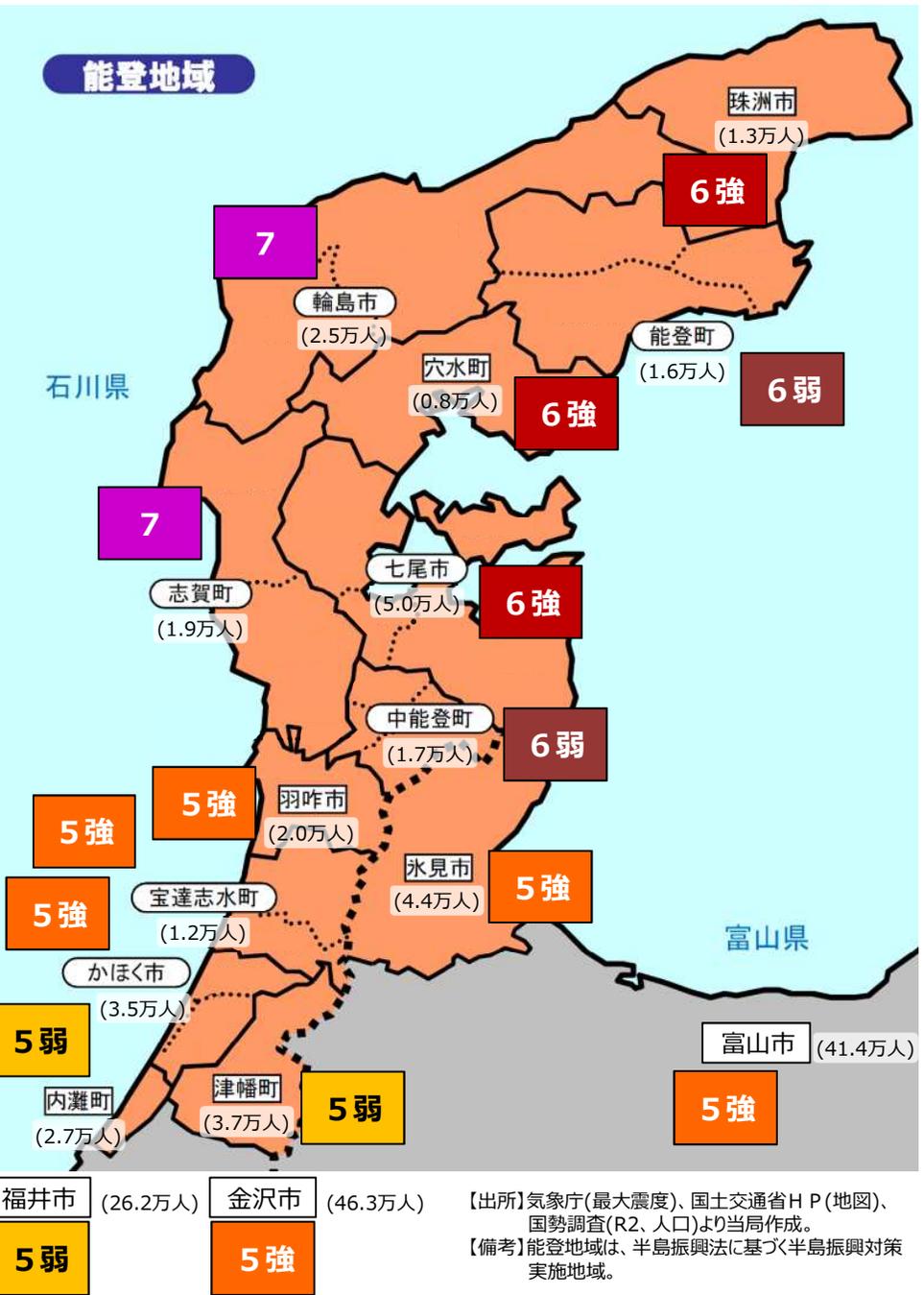
■ プロが選ぶ
日本のホテル・旅館100選(2024)

順位	旅館名	地区名
1	A	石川県・和倉温泉
2	B	岐阜県・下呂温泉
3	C	福島県・母畑温泉
4	D	新潟県・月岡温泉
5	E	石川県・山代温泉
...
42	F	石川県・和倉温泉
45	G	石川県・和倉温泉
46	H	福井県・あわら温泉
61	I	石川県・山代温泉
71	J	福井県・あわら温泉
73	K	石川県・和倉温泉
84	L	石川県・金沢摩川温泉
98	M	石川県・山代温泉

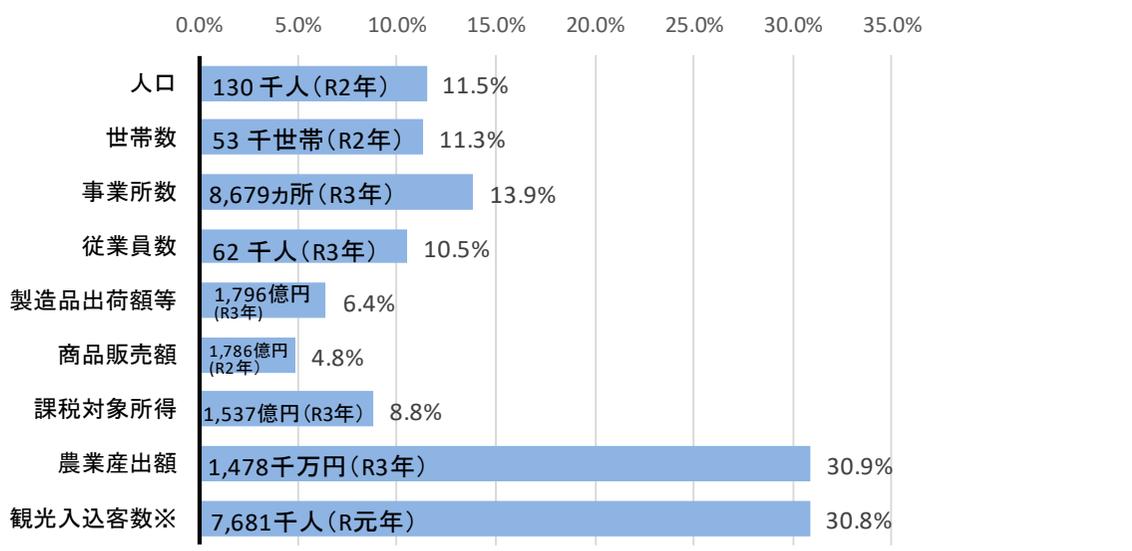
【出所】旅行新聞新社
 【備考】日本の旅行会社(約14,000カ所)へのアンケートをもとに、年に1度ランキングを発表しているもの。

III. 令和6年能登半島地震の影響について

1. 能登地域の概要

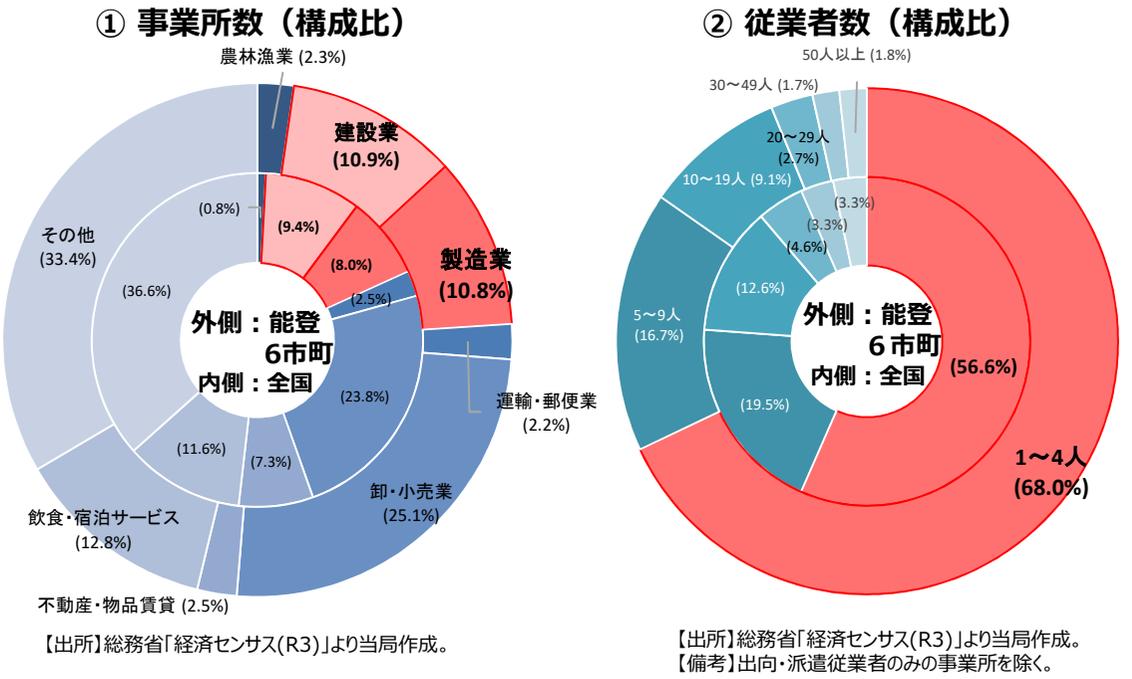


(1) 主な経済指標：能登6市町の県内経済シェアは約1割



【出所】国土交通省、総務省、農林水産省、石川県資料より当局作成。
 【備考】6市町：七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町（※観光入込客数の能登地域は宝達志水町以北）

(2) 産業構造：製造・建設業が多く、小規模事業所の比率が高い

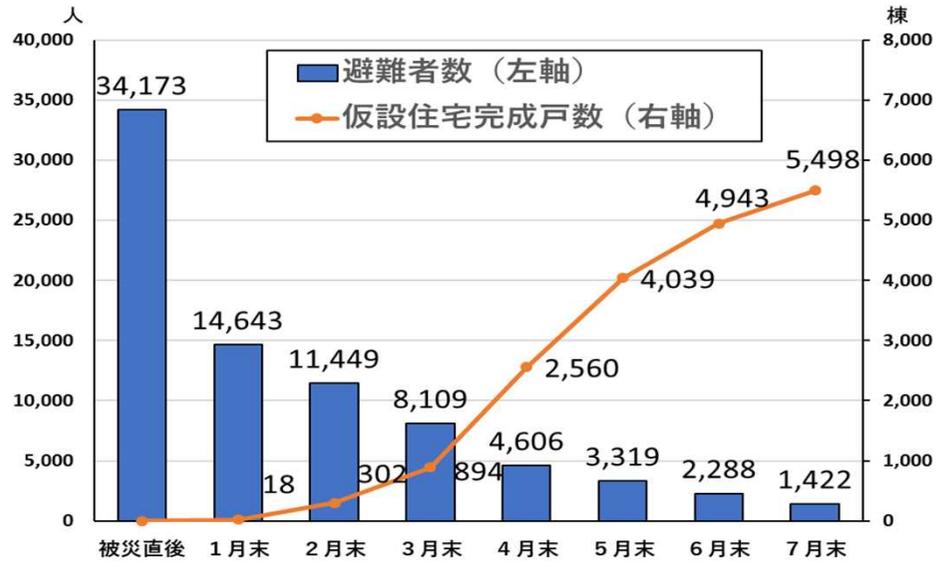


III. 令和6年能登半島地震の影響について

2. 被災の状況等

(1) 避難者数等の推移 (石川県・月末公表分)

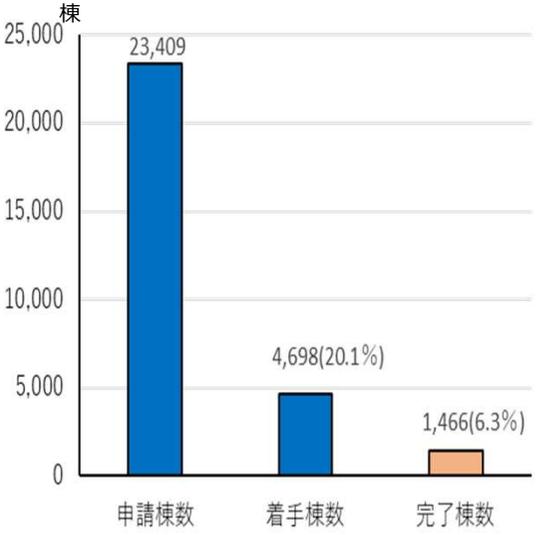
→ 住家被害は8万棟を超えるなか、現在でも1,000名以上が避難。



【出所】石川県資料 (各月末近時公表日) より当局作成
 【備考】被災直後 = R6.1.2~8の間の最大数

(2) 公費解体の実施状況

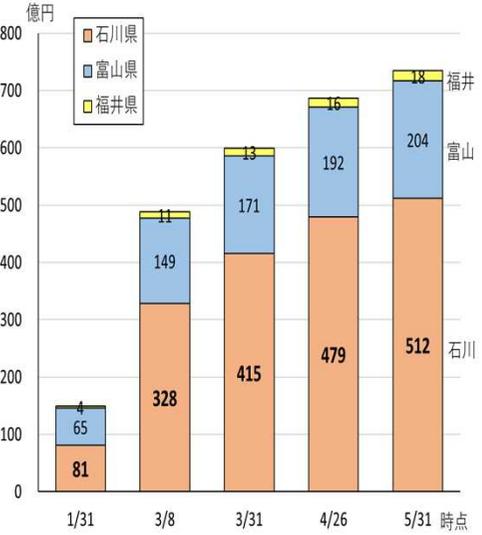
→ 早期の公費解体に向けて取組みを進めている



【出所】石川県資料より当局作成 (R6.7.18時点)

(3) 地震保険の支払保険金

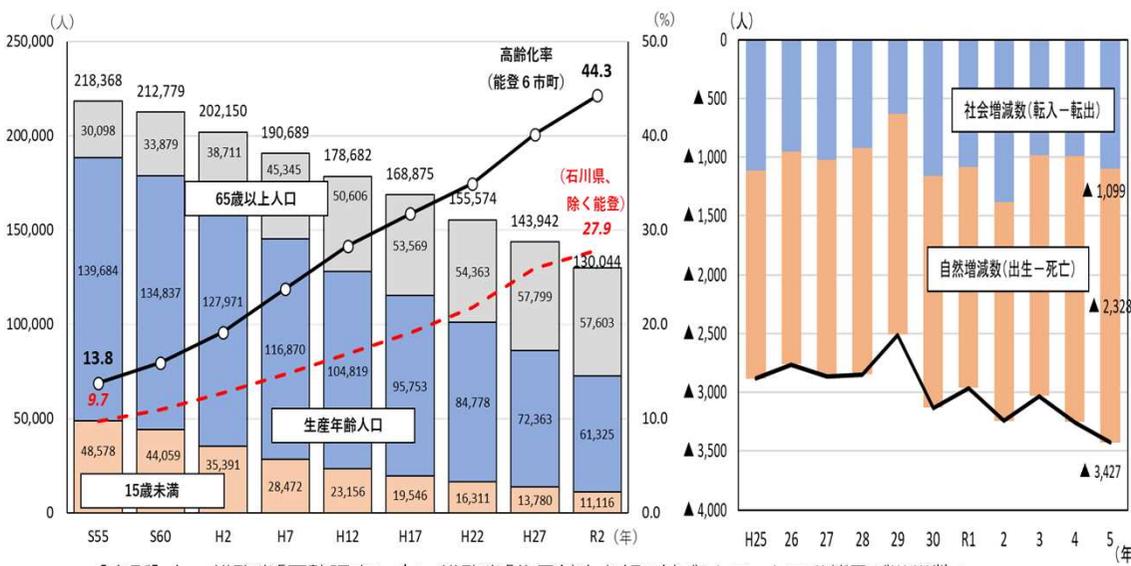
→ 支払保険金は生活再建の一助となっている



【出所】日本損害保険協会資料より当局作成

(4) 人口推移 (能登6市町)

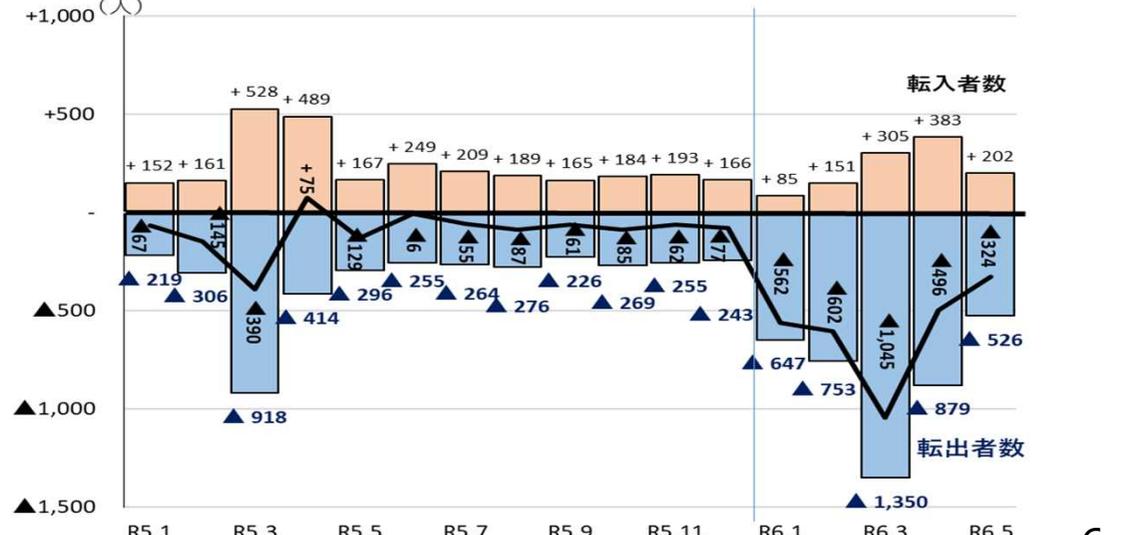
→ 人口減少が進み、令和2年時点で、高齢化率は4割超。



【出所】左：総務省「国勢調査」、右：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
 【備考】「国勢調査」の平成27年以降は不詳補完値ベース。高齢化率は総人口に占める65歳以上人口の割合。

(5) 能登6市町の転入・転出者数

→ 被災以降、転出者数はさらに増加している



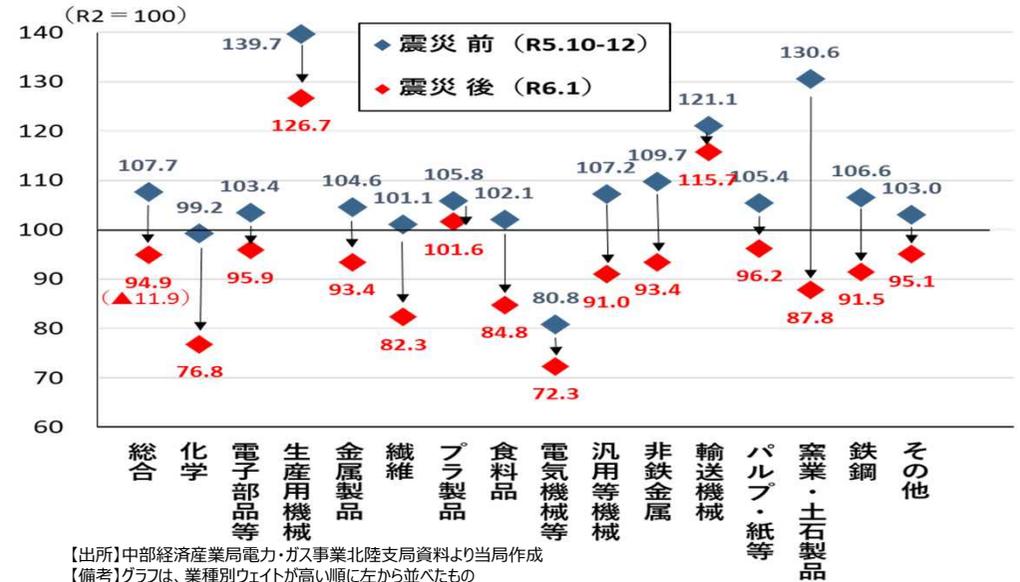
【出所】石川県「石川県の人口と世帯」より当局作成

III. 令和6年能登半島地震の影響について

3. 生産活動

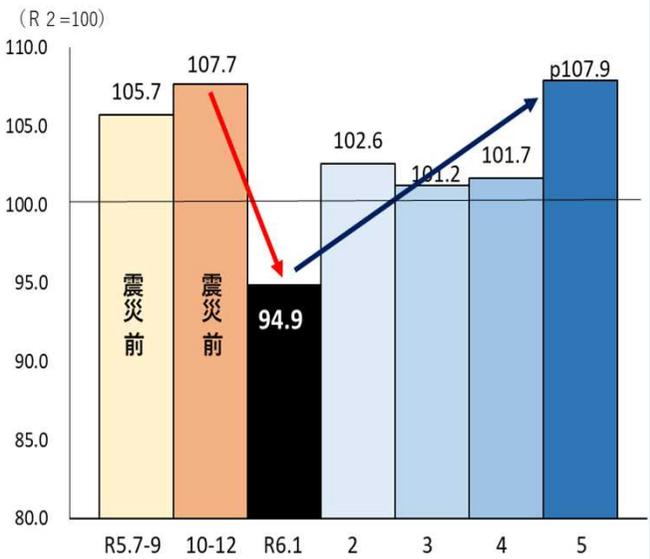
(1) 鉱工業生産指数（北陸、R5.10-12月 → R6.1月）

→ 震災当月は、製造工業の全ての業種で低下



(2) 鉱工業生産指数の推移（総合）

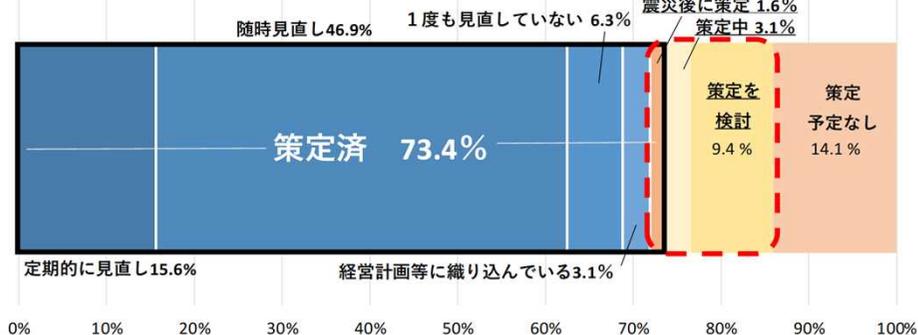
→ 損壊設備等の復旧が進み、被災前の水準に達している



- ◆ 復旧稼働後に不具合が発覚するなど影響は残るが、稼働率は9割前後にまで回復【医薬品】
- ◆ 残業と休日出勤による挽回生産を行っており、8月には1-3期の遅れを取り戻せる見込み【医薬品】
- ◆ 被災により稼働率が低下したが、現在は通常稼働で、4-6期の生産高は1-3期比で+15%増【電子部品】
- ◆ 全工場が被災したが、5月には復旧率は100%となった【電子部品】
- ◆ 損傷した生産ラインの確認を続けており、震災以前の状態に戻るには相当時間を要する【電子部品】
- ◆ 依然として応急措置下の生産であるが、震災翌月以降100%稼働。順次復旧工事を進めている【繊維】
- ◆ 5月半ばに復旧したが、生産量は回復途上【繊維】

(3) 企業におけるBCP（事業継続計画）の取組状況

① BCPの策定状況 → 現状、約7割が策定済み。震災を契機に、1割強が策定又は検討の動き



- ◆ 再建支援の補助金申請に併せて「事業継続計画」を策定した。また、地震後、飲料・非常食を従業員数×3日分に増強するほか、安否確認システムを導入した【福井/繊維】
- ◆ 危機管理の取組みは進めていたが、被災を契機に本格的なBCPを策定中【石川/繊維】
- ◆ 作成を検討中。取り急ぎ、初動と安否確認の態勢整備を図ったほか、シェイクアウト訓練、設備点検を実施した【石川/商業施設】
- ◆ 復旧作業中であり、策定を検討している段階【石川/化学】

② 震災を踏まえて実施した防災・事業継続対策（複数回答）

→ 安否確認手段の整備やBCPの見直しに取り組む企業が多い



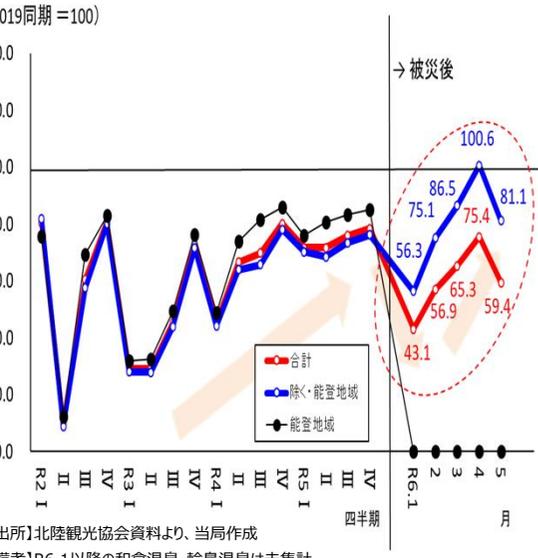
- ◆ 地震の際、従業員数名と適時の連絡が取れず、安否確認用連絡網を再整備した【福井/繊維】
- ◆ 安否確認等で、既存のBCPでは運用面に課題がみられ、見直しを実施【富山/電子部品】
- ◆ 津波を想定した避難場所の検討や避難訓練の方法を見直す。また、これまで飲料水を常備していなかったため、一定数を常備した【石川/生産用機械】
- ◆ 夜間時間帯の連絡体制や現場対応方針を定めたBCPが必要【石川/宿泊】
- ◆ 地震直後は商品の補充のため、卸業者と連携して運送便数の調整などで対応した【石川/ドラッグストア】
- ◆ BCPは以前から策定されていたが、今回の地震で、取引先への通知や従業員安否確認のアフターフォローに係る部分を見直した【富山/電子部品】

III. 令和6年能登半島地震の影響について

4. 観光

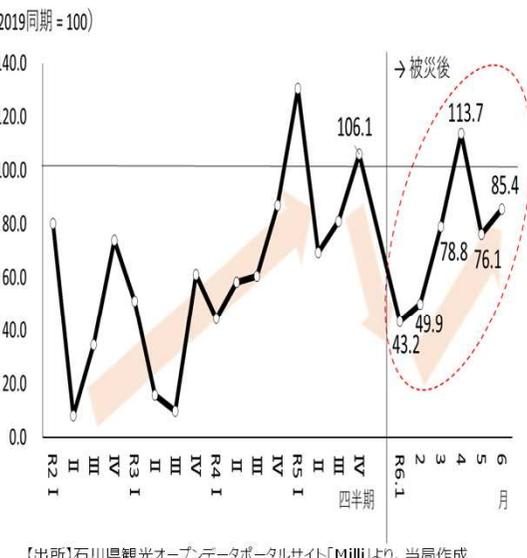
(1) 温泉地の宿泊者数

→ 発災月は、自粛ムードもあって、能登以外も大きく減少
その後、能登以外では反転している



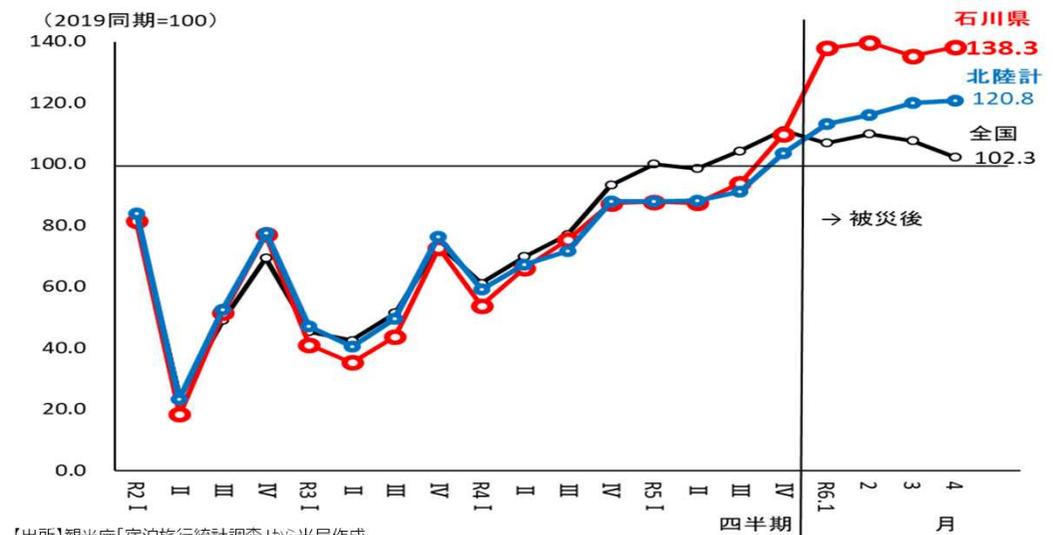
(2) 兼六園の入園者数

→ 金沢の観光地も反転し、復調



(3) 延べ宿泊者数の推移 (2019年比)

→ 発災月でも、被災地支援者の来県が増加し、石川県ではコロナ前超え
2月以降も、支援者の増加に加え、敦賀延伸や北陸応援割の効果もあって大きく伸長

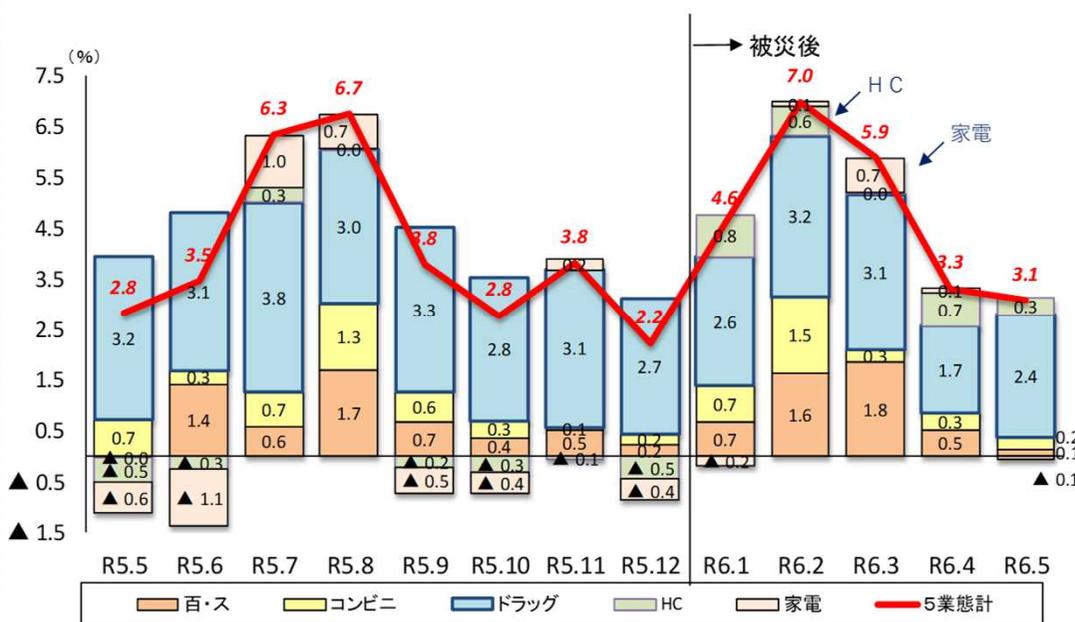


【出所】観光庁「宿泊旅行統計調査」から当局作成
【備考】令和6年1月以降の数値は、令和6年能登半島地震の二次避難者が含まれている可能性がある。
宝達志水町以北は、令和6年能登半島地震の影響により調査対象から除かれている。

5. 個人消費

■ 物販主要5業態の販売額 (前年同期比：寄与度)

→ 震災以降は、生活再建需要により、ホームセンターや家電大型専門店にも動き



【出所】経済産業省「商業動態統計調査」より当局作成。
【備考】百・ス=百貨店・スーパー、コンビニ=コンビニエンスストア、ドラッグ=ドラッグストア、HC=ホームセンター、家電=家電大型専門店

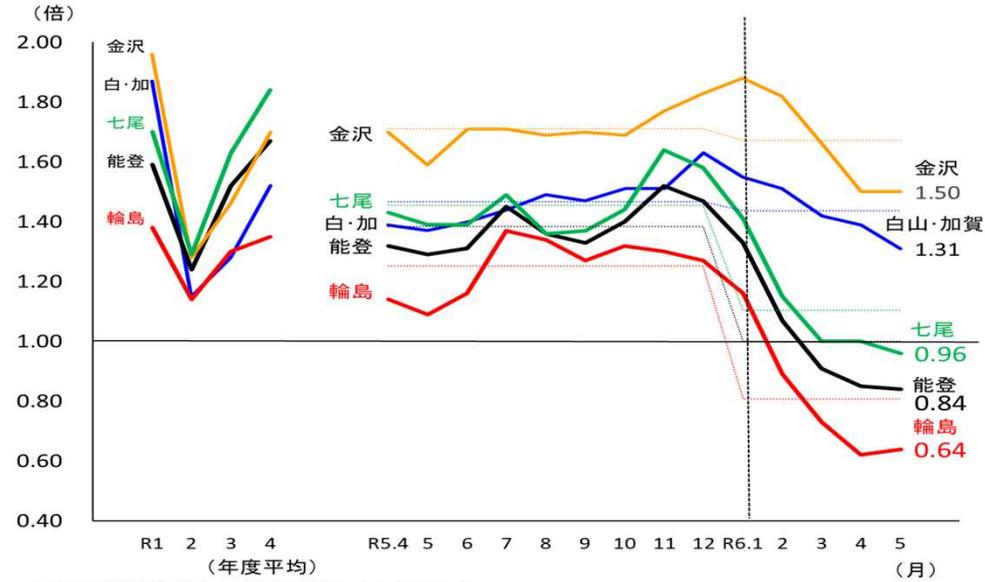
- ◆ 能登や能登に向かう国道沿い店舗では、工事関係者の来店が続き、米飯類等が動いている【コンビニ】
- ◆ 引き続き復旧需要として、建築資材、木材、セメント等が好調に推移。仮設住宅向けにエアコン等の家電製品も動きがある【ホームセンター】
- ◆ いまでもコンクリートや壁等の補修材は良く動いているほか、避難者による照明器具や家具等への需要も多い【ホームセンター】
- ◆ 被災地応援の機運が高く、能登など県内の菓子類を中心に、法人の大口需要や県外個人客からの注文が増えている【百貨店】
- ◆ ようやく部分再開したが、和倉温泉が復旧しておらず、観光客はわずか。ただし、近隣施設の営業再開や能登へのアクセス道路の復旧が進展しており、今後に期待している【観光施設・能登】
- ◆ 自粛ムードは払拭され、利用者が戻ってきた【娯楽】
- ◆ 能登では複数店舗で営業を停止しており、時短営業も多い【小売】
- ◆ 能登では新車の購入が見送られ、中古車に流れている【自動車販売店】

III. 令和6年能登半島地震の影響について

6. 雇用情勢

(1) 地域別の有効求人倍率（石川県：原数値）

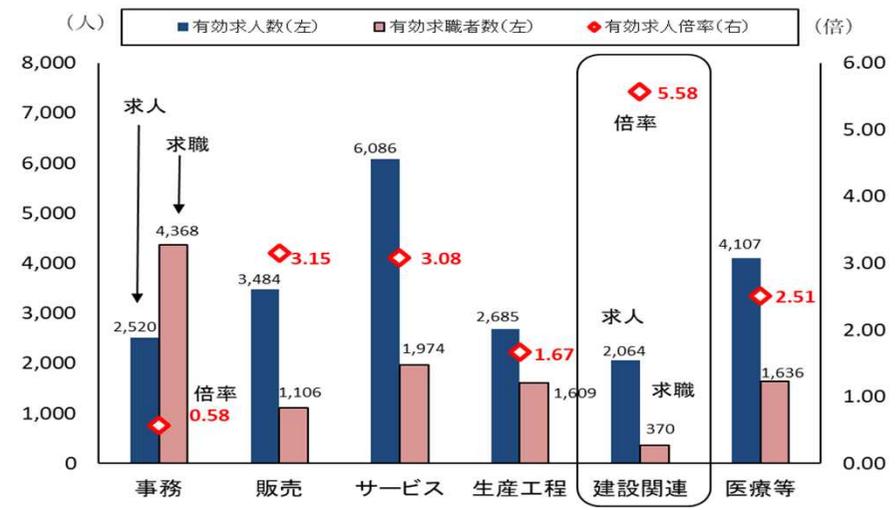
→ 被災後、有効求人倍率は低下し、能登では1倍を下回る



【出所】石川労働局「最近の雇用失業情勢」から、当局作成。
 【備考】地域は、公共職業安定所別とした（能登地域＝七尾、輪島、白山・加賀地域＝白山、小松、加賀）

(2) 職業別の有効求人倍率（R6.5、石川県：常用、原数値）

→ 事務的職業では、求人より求職が多く、求人倍率は1倍に満たない
 その他の職業では1倍超となっており、なかでも、建設関連の人手不足が顕著となっている



【出所】石川労働局「最近の雇用失業情勢」から、当局作成。
 【備考】建設関連は「建設・採掘従事者」及び「建築・土木・測量技術者」とし、医療等は「医師、薬剤師等」、「保健師等」、「医療技術者」、「その他の保健医療従事者」、「介護関係の職業」から集計した。

◆ 能登地域に係る声

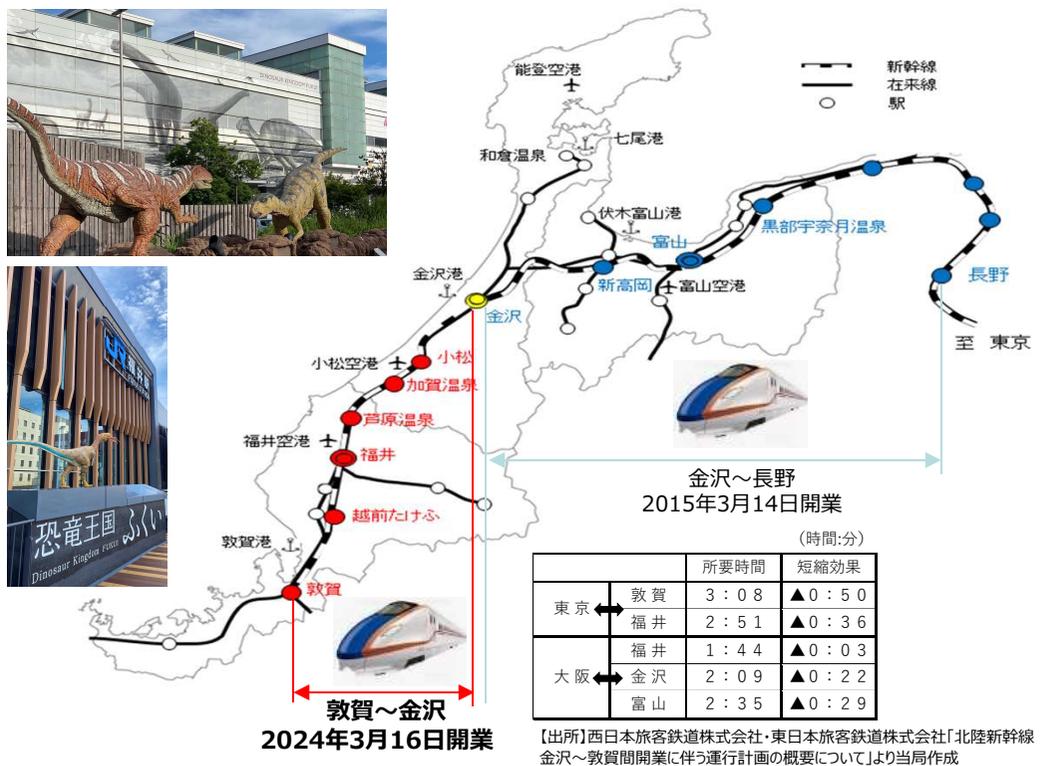
- 七尾エリアでは、和倉温泉の旅館が被災した影響で、求人数が減少している【労働局】
- 輪島エリアでは、「卸・小売」や「宿泊・飲食サービス」で多くの事業所が休業しており、求人数が減少している【労働局】
- 能登では、引き続き複数店舗で営業を停止している【コンビニエンスストア】
- 能登では、震災前から人手不足である「建設」など一定のスキルや体力を必要とする求人が多いが、高齢化が進んでおり求職者とのマッチングが成立しにくい【労働局】
- 被災事業所からの求人が減少している一方、引き続き建設業等で復興関連人員が不足している【労働局】
- 奥能登では、高齢・家族経営による小規模な織物工場が多く、一定数の廃業があった見込み【繊維商社】
- 事業所の休業・廃業に伴い、雇用保険受給者実人員が大きく増加している【労働局】

◆ 建設関連の声

- 家屋解体工事など震災復興関連の求人が続いている【労働局】
- 被災により業界全体で人手不足に拍車がかかっており、被災移住者の需要を見込んだアパート建設が、計画通り進められるか懐疑的【建設】
- 人手不足により、地震関連の受注を断ることもあった【建設】
- 人手がないと復興工事も進まないが、募集をかけても中々集まらない【建設】
- 仮設住宅の設置など復興需要への対応もあって、工事担当者や設計者など様々な職種で募集している【建設】
- 震災で測量関係の需要が増えており、もっと人手が欲しい【設計】
- 地震関連の需要が続いているが、作業員の休暇等も確保せねばならず、人手不足感はより強く感じている【運送】
- 被災により稼働人員が減少。二次避難で離職されるケースもあり、現地の人手不足が加速する中、能登以外の企業から人員を派遣し、復旧作業に対応【業界団体】

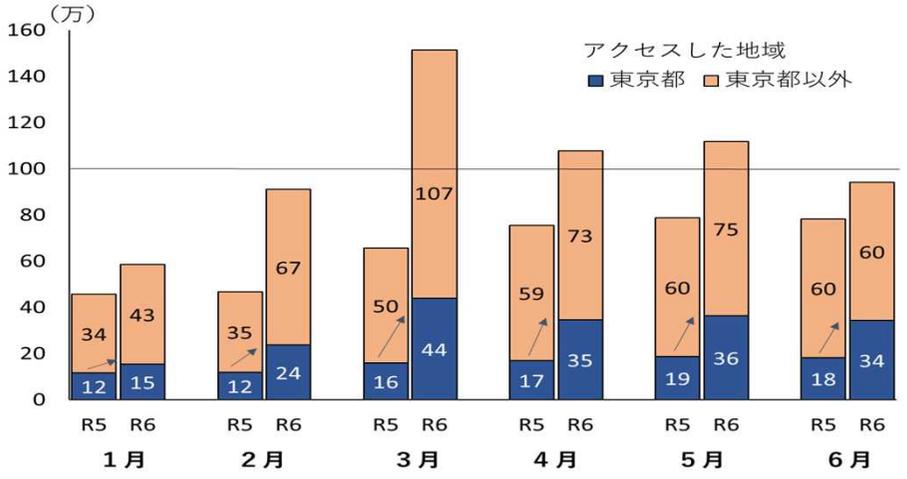
IV. 北陸新幹線の敦賀延伸について

(1) 北陸新幹線敦賀延伸 (R6.3.16) の状況



(2) 観光サイトの閲覧・ページビュー数の推移 (福井県)

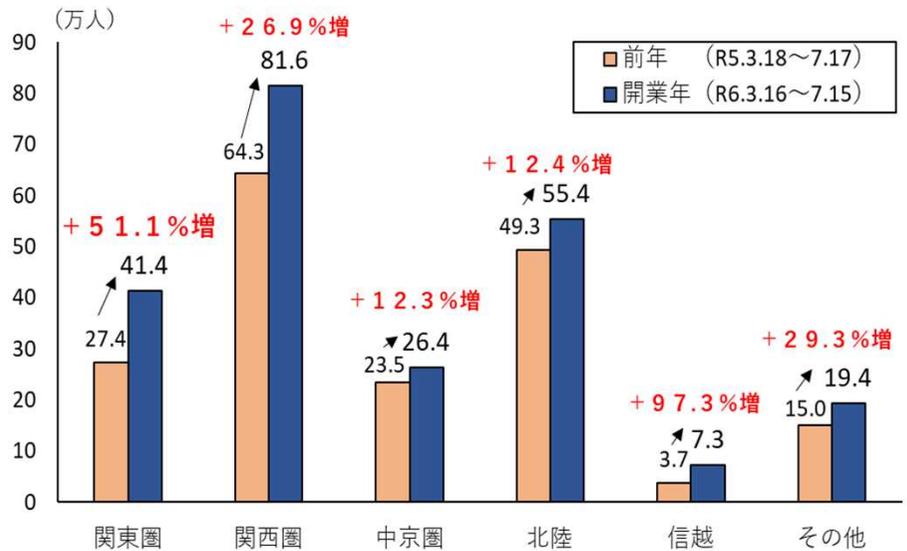
→ 東京からの閲覧数が増加するなど、福井観光への関心は高まっている。



【出所】福井県観光データ分析システム「F T A S」より当局算定
【備考】福井県公式観光サイト「ふくいdotcom」へのアクセスデータ

(3) 新幹線駅周辺の来訪者数(福井県※越前たけふ駅を除く、県推計値)

→ 各地から増加し、特に、関東圏から大幅に増加している



【出所】福井県資料より、当局作成
【備考】来訪者数は、いずれもKDDIが保有するビッグデータを用いて算出した県推計値で、前年との比較が可能な戸原温泉駅周辺、福井駅周辺、敦賀駅周辺の合計値かつ延べ人数
関東圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県、 関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県
中京圏：愛知県、岐阜県、三重県、北陸：石川県、富山県 (福井県を除く)、信越：新潟県、長野県
なお、データ提供元は、KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」であり、auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計されたもの

◆ 敦賀延伸等の効果の声

- 延伸効果が続いており、個人客を中心に客数が増加。先行きも明るく、特に夏休みはファミリー層の増加を見込んでいる【福井・観光地】
- 延伸効果で関東方面からの客を中心に増加している【福井・温泉地】
- 8月も多くの予約があり、土日祝日を中心に、受入を断ることも想定される【福井・温泉地】
- 観光地・温泉地の近隣店舗を中心に、延伸後初めての夏休みを迎え、今までにない売上・集客を期待している【福井・小売】
- 延伸効果等もあって、引き続き、宿泊需要の高い金沢駅周辺店舗の客数は堅調【金沢・小売】
- 加賀地方でレンタカー利用者が増加しており、今後も増えていく見込み【金沢・レンタカー】
- 延伸以降、県外観光客を中心に、特に福井駅前など駅周辺で駐車場利用者が増加【福井・不動産】
- 敦賀延伸等で北陸への観光需要が高まっており、夏休みシーズンの土産需要に期待【富山・食料品】